

資生堂 復興支援活動



「樁の里・大船渡」プロジェクト

2012年12月4日
株式会社 資生堂

会社概要(2012年3月末時点)

社名

株式会社 資生堂

本店所在地

東京都中央区銀座七丁目5番5号

汐留オフィス
(ビジネスセンター)

東京都港区東新橋1-6-2

グループ会社数

116社

グループ従業員数

約46,000名

経営実績
(連結ベース)

	12年3月実績
売上高	6,824億円
海外売上比率	44.3%
営業利益	391億円
営業利益率	5.7%
当期純利益	145億円



汐留オフィス

2011年度から実施しているビューティー支援活動
に加えて、以下の活動を実施

- ◆「希望イロイロバルーン」展
- ◆日本女性会議2012仙台への参画
- ◆「未来椿プロジェクト」活動 ※

於 いわき市

ふくらませよう。
ふくしまの希望。

BALLOONS OF COLORFUL HOPES
希望イロイロバルーン展
2012.12.21-25

ただいま
129個の
バルーンが
届いています。
メッセージを送る ▶

バルーン展って? ▶

BALLOONS OF COLORFUL HOPES
希望イロイロバルーン展
2012.12.21-25

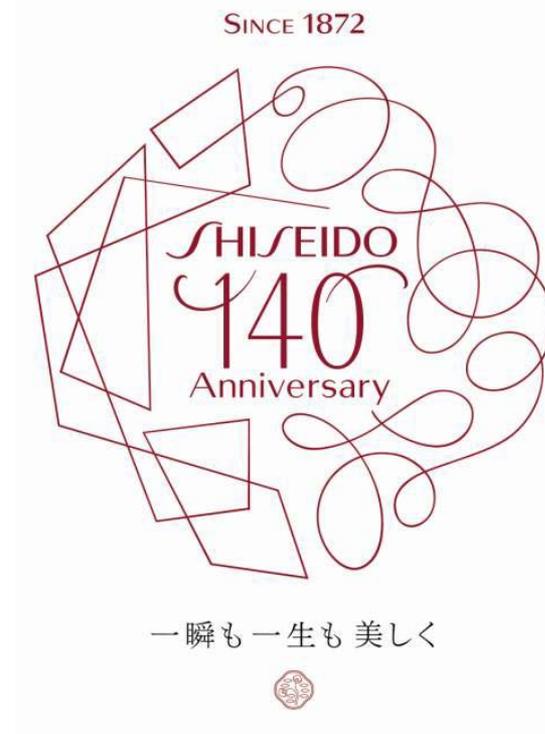
- TOP
- バルーン展って?
- 私たちの想い 140
- 作品を見る
- メッセージを送る
- 活動レポート
- 募金する

未来をみつめる。希望をいりどる。
ふくしまの希望ふくらむプロジェクト

SHISEIDO
140
Anniversary
毎日新聞創刊140年

<http://www.kibou-140th.com/>

140年資生堂の成長を支えてくださった
社会・お客さまへの感謝の気持ちを、
資生堂の社員だからこそできる
社会貢献を通じて、
社会・お客さまへお返ししていく



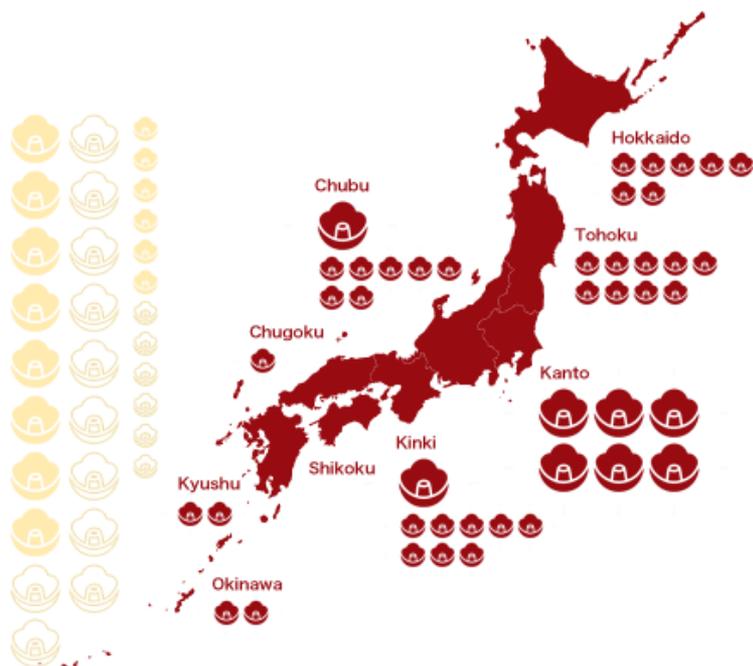
＜未来椿プロジェクト活動の特徴＞

- ◆事業所・部門毎に全社員が活動に参加できる内容を企画する
- ◆「化粧・女性」「環境」「文化」の3つの領域で企画する

◆世界約130の事業所・部門で、約290の活動推進中

◆そのうち被災地の支援活動は20の事業所・部門で、20の活動を推進中

Japan



Activities in Japan

全て表示する

表示



神崎川のクリーンアップ(11月号)(大阪工場/大阪府) NEW

11月19日(月)に55名の社員が参加し、工場横の神崎川/河川敷の清掃活動を行いました。全体で、可燃…[続きを読む](#)

活動結果報告



マラソニング!(近畿支社/大阪府) NEW

11月25日(日)大阪マラソン開催にあたり、マラソンコース清掃ボランティアが11月22日(木)北浜大…[続きを読む](#)

活動準備中



Beauty & Co. X JTB 鎌倉史跡美化活動(デジタルビジネス開発部/神奈川県) NEW

今回の企画(鎌倉史跡美化活動)は、Beauty&Co.参加企業であるJTBさまの社会貢献活動…[続きを読む](#)

活動結果報告



研究管理部 地域清掃活動 第3弾(研究管理部/神奈川県) NEW

研究管理部の「地域清掃チーム」は7月・9月の活動に続き、リサーチセンターに隣接した早瀬公園を社員29…[続きを読む](#)

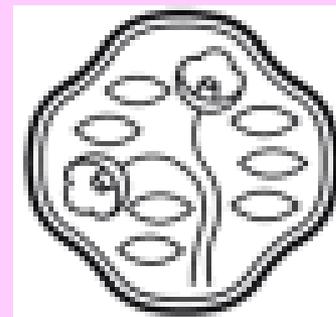
活動結果報告

椿の里 大船渡市との出会い

大船渡市の
シンボル＝「椿」



資生堂の
シンボル＝「椿」



「椿の里・大船渡」プロジェクト 実施までのスケジュール

4月 未来椿プロジェクトキックオフ

全員参加で活動案の提案⇒部内コンペにより活動決定

5月 活動の決定、連携先の検討

日本フィランソロピー協会に協働先NPOの紹介を依頼したタイミングと
日本経団連 長沢様からの依頼のタイミングが一致。

⇒みちのくふる里ネットワーク(大関様)の紹介を受け、協働パートナーとして決定、面談

6月 大船渡 現地視察、関係者との面談、ヒアリング

椿の関係者に面談 ⇒地元の「椿」に関連する関係先を網羅

大船渡市役所(企画調整課・農林課)、椿協会関係者、東高等学校(椿育成のプロ)、
世界椿館館長(椿育成のプロ)、椿を植える候補地として地元の方との面談、地元NPO、
大船渡で活動しているNPO情報共有会議に参加

みちのくふる里NWさんの役割

現地での関係者の洗い出し、
関係者との調整、コーディネート

8月 大船渡 関係者との最終面談

植樹先となる赤崎中学校を交えた、関係者との最終面談

9月11日 大船渡 赤崎中学校 記念植樹の実施

11月 大船渡 植樹した椿のメンテナンス実施

—私たちの想い—

椿は大船渡市のシンボル。
「椿の植樹」をきっかけとした支援活動を通し
大船渡市の復興の一助となりたい。

—支援活動のビジョン—

将来、街の復興を担うであろう中学生が
「自分たちの手でまちをつくるんだ！」
という想いを持ち続け、
やがて主役になっていただくことを願い、
椿の植樹をきっかけとした交流を通じて
中学生により添い応援させていただく。



1. 植樹および椿を育てる活動

椿の植樹と記念プレートの設置

津波で本校舎が全壊し仮校舎が完成したばかりの赤崎中学校の校舎前に、復興への願いを込めて全校生徒参加で共に植樹。3年生の生徒数である41本の苗木に、3年生生徒が復興の想いを込めて詠んだ俳句を掲示した記念プレートを設置。

2. 植樹を通じたコミュニケーション活動

■記念プレート制作(赤崎中学校生徒とCSR部員の協働制作)

<赤崎中学校生徒の活動>

「椿の里・大船渡」「ふるさとの復興」への想いをテーマに、3年生の生徒さんが俳句を作成。

<CSR部員の活動(部員全員参加)>

生徒さんと校長先生が作成した俳句をCSR部で書き写しプレートを42枚制作。

プレートに付ける椿の花のイラスト42枚に一人ひとりが心を込めて色付けを行なう。

■継続的なコミュニケーション方法の構築

※現在、学校と協議中(椿育成委員会の設置、スカイプを使った椿会議等を提案中)



太陽がさんさんと輝く中、皆で一緒に植えました。

復興を担う次世代との交流を通じた支援活動

「椿の里・大船渡」として街が再生するお手伝い



「いのちの椿プロジェクト」

「椿」を軸に大船渡の街の再生を実現化するためのプロジェクト。
行政、民間、企業が連携してコンソーシアム化する。

赤崎中学校の生徒との交流を軸とした活動計画

- ① 椿が育つ環境づくりの確立
- ② 中学生が「椿の里・大船渡」と「復興」にかける想いを記録に残す活動

「いのちの椿プロジェクト」が目指すもの



「椿の里・大船渡」の再生

観光の活性化

地域産業としての確立

雇用の創出

街の人が目指す姿を達成するために、
資生堂のリソースを使ってお役に立てることを考える